

## スコープス裁判（1925年）

テネシー州 Dayton の高校の生物教師 John Scopes の裁判

検事 W. J. ブライアン

弁護人のクラレンス・ダロー

テネシー州の反進化論法は1967年に廃止された

テネシー州議会は1973年に「創世記法」を可決した。

### ○ブライアンの「最終陳述」

進化論は真理ではない、それは単なる仮説である。

科学を教えるのだという名目で、子供たちに反宗教的立場を強制しようとしている、孤立した少数派の企みから子供たちを守らなければならない。

インテリたちは善と悪の問題を問題にしようとしなさい。

進化論を信じることももたらす影響を知ったうえで、父母は非宗教的な教師が自分の子供に、懐疑主義や不信仰を吹込むことを許すことができるだろうか。

肉体と精神の弱者は、消え去ってもいいという考えは、何と非人間的な教えではないか！これ以上、文明に対して破壊的な教えがあるだろうか。

ニーチェは巨人の声を借りて、ドイツに対してダーウィンの教理を与えた。ドイツはニーチェの巨人の教理を、世界勢力としての巨大国家建設の政策に解釈し直したのである。

進化論は科学者にとっての宗教である。